"空の道"構想を熱く講演

3/26 [Fri]



▲講演会で意見を発表する参加者

多久市の空にドローンが通る「空の道」の取り組みを語る講演会「多久の夜明け『空の道』構想から現実へ」(主催:多久市まちづくり協議会かつやく隊)が、中央公民館で開催されました。取り組みの詳細は、市報2月号の特集でご紹介しています。

会場は全席指定で50人来場。第一部では株式会社トルビズオンの増本衛代表取締役が、多久市で取り組む 意義と次なる展望を語られました。

第二部では来場者参加型のディスカッションを実施。「高速道路の上も通れるようになると良いと思う」、「病院での検査でもドローンを活用できないか」など、活発に意見が交わされました。

西多久のおひな様を開催

3/30[Tue]~4/3 [Sat]

西多久町の森家住宅と川打家住宅で、「第15回西多久の春~竹と灯とおひな様~」(主催:西多久町女性学級、ひなの会サークル、幡船の里、プライベートオアシス)が開催されました。今回は「灯との出会い」をテーマに、さげもんやひな人形、竹飾りで幻想的な空間を演出。西渓校放課後子ども教室で、児童たちが作成した「さげもん」も飾られていました。

ひなの会サークルの飯守清子さんは「作るのが楽しくて続けてこられた。西多久町に素晴らしい文化財があることを伝える機会にもしたい」と来場者を笑顔で迎えていました。



▲森家住宅に飾られたひな人形たちを優しい光が 照らしていました れた児童 が作成した さげもん

宅に飾ら

義務教育学校3校で入学式

4/9 [Fri]

■期待に胸を膨らませて入場しました

▲入学式で大きな声で返事をした東部校の新1年生

多久市内の義務教育学校 3 校で入学式が行われ、中央校101人、東部校31人、西渓校20人の新 1 年生が入学しました。

東部校では、新型コロナウイルス感染対策を徹底して式を挙行。新1年生は上級生と一緒に目を輝かせて入場し、式の最中は席についてしっかり話を聞いていました。